



道徳で情報モラルの授業を行いました

情報社会が進み、SNS等を用いて様々な情報を入手したり、共有したりすることができるようになりました。一方、SNSのやりとりやインターネット上への安易な投稿が自分や他人にどのような影響を与えるかをよく考えずに、トラブルを起こしてしまったり、巻き込まれてしまったりすることがあります。

そこで、インターネットの利用におけるモラルやリスクについて幅広い視野で考え、正しい知識をもって適切に利用できるようになって欲しいという願いから授業を行いました。3つのストーリー動画から、何がいけなかったのか、どうすればよかったのかを話し合いました。



授業後の生徒の振り返り

- ・現実世界からインターネットへ情報を入れると、果てしなく拡散するから、二人で話をしている時も世界中の人に見られていると思って話すことが一番安全だと思った。
- ・SNSは簡単に情報が広まり、一生消えないということを改めて実感した。
- ・インターネットは本当に便利だけど、人を傷つける道具にもなりうるから気をつけないといけない。そして自分自身を傷つける可能性もあるということを覚えておこうと思った。
- ・LINEでスタ連をされた時があって、その時は笑いで終わったけど、そのまま続いたら友達関係がなくなるかなと思った。だから、嫌なときは嫌だとはっきり言おうと思う。
- ・SNSに情報をアップしたら、拡散され、保存されたものは完全に消せない。そして、見た人も気分が悪くなるから、本当にアップしてもよいのかよく考えることが大切だと思った。
- ・何かトラブルを起こして一番苦労するのは自分だし、他の周りの人にも、悪影響がいくから、自分が「してはいけない」と思うことや、「相手が見て良い気分にならない」と思うことは絶対にやらないようにしたいと思った。

<保護者の方へのお願い>

授業で見た動画のリンクをQRコードで載せましたので、ぜひご覧ください。

生徒が授業で使用したワークシートを道徳のファイルに入れ、持ち帰っています。生徒が保護者の方に学んだことを伝えることになっていきますので、ご家庭でも携帯・SNSの使い方について話し合ってください、意見や感想をご記入ください。5月16日(木)までお願いいたします。

動画教材へのリンク

